

第四十三回紀念祭寮歌

(變口調 3/4)

Allegretts

3 3 - | i . i 6 - | i . i 7 6 | 5 . 5 3 - | 1 . 2 3 - | 2 . 1 2 - | 3 . 5 i 6 | 5 . 6 5 - |

カゼ スサブ クウヤノ ウチニ コーボ クタダ モクシテ タタリ
ふる ききや れきしのはえに めーぐ るはる しじゅうゆうさん

3 . 3 3 - | i i - | 6 . i 3 2 | i . 6 i - | 3 . 4 5 - | 1 . 2 3 - | 3 . 3 i 3 | 2 . 2 i - ||

ワレラ ミナ メグリテ ウタハン アタラ シキメ エダニモ エタリ Fine
ともよ いぎ ともにま ひーて はーな きかせ きねんのまつり

Moderate

3 6 6 | 3 i . 6 | 3 2 i | 7 . 7 6 - | i . i 6 - | 6 . 6 3 - | 6 . 7 i 2 | 3 . 3 3 - |

タビゴロモイロハアセドモ トハニ アニム シンリノ ヨミチ
こんとんのしきうのちまた われら いーま なにをも とめん

3 . 4 3 - | i i - | i . 3 2 i | 7 . 7 6 - | 3 6 6 | 6 3 . 2 | i 7 i | 7 . 7 6 - |

サキユ キシ アトラダドリテ ワレモ マダノ ポリキ タリヌ
いばら ふみ なみじお どりて あけの かねか きなら すかな

4 5 6 | i . 2 3 - | 2 . 3 2 3 | 2 . i 2 - | i 6 - | 5 . 6 5 - | 3 . 4 3 2 | 1 . 3 5 - |

サクラ フブキ カーシハ ツユス アケ クレノ オカノ ミトセヤ
もりあがりの びゆくこ ころに ひた よする じだいのくう

3 i - | 6 . 6 3 - | 3 3 2 i | 7 . 7 6 - | 6 3 i | i . i 6 - | 3 . 3 6 i | 7 . 7 6 - ||

ヨヲ コメテ ヒビクマ ドキノ ウター マクラ ユメヲハ ラムカ D.C. al Fine
わか きこは おそれを しらじ まこー とのひ むねにい だきつ

第四十三回紀念祭寮歌

歌詞 大川 榮作
歌曲 佐伯 貞雄

風荒ぶ曠野の中に 古木ただ黙して立てり
吾等皆めぐりて唄はん 新しき芽枝に萌えたり

旅衣いろはあせども とはに歩む眞理の夜途
先き行きし後を辿りて 吾も亦上り來りぬ

櫻吹雪き柏露す 明け暮れの丘の三年や
夜をこめて響くまどゐの 歌枕夢をはらむか

混沌の思想の巷 吾等いま何を求めん
いばら踏み浪路おどりて あけの鐘かき鳴らす哉

盛り上り伸び行く心に ひた寄する時代の苦惱
若き兒は怖を知らじ まことの炬胸に抱きつ

結
古き木や歴史の榮に めぐる春四十有三
友よいざ共に舞ひて 花咲かせ紀念の祭

部から、氣の毒だが資金がないから、アルバイトの口がないからと空しく断はられて行く寮生の數多あるのは何とした悲しいことだらう。事實、昭和七年末に於ける統計を見ると、昭和七年四月よりのカード提出者九八名中、未解決者三三名といふ悲惨な數字を見させて居ります。然し委員一同出来るだけのことをし盡した揚句のことです。齒をくひしばつて傍觀するさまは何と憐れなものでせう。この點、共済部の基礎をもつと確かかりしたものにしなければいけない、資金をもつと豊富なものにしてしよう、といふ考へから、年々書狀で御願ひする小口寄附以外に、先輩の個別訪問を始めて参りました。暇ある毎に委員二名位宛連立つて市内外の先輩をお訪ねする、その結果は極めて優良ではありますが、まだ充分といふところまでは参りません。なほ暫く、御迷惑をおかけする積りで居ります。くどいやうではございますが、全く先輩あつての共済部なのです。家庭教師、翻譯、其他一高生に適當と御認めの職がありました場合には、何卒、この一高共済部へ申込下さい。

先號だつたかの同窓會々報で、大變、共済部に御理解ある

J O A K

寮歌放送

いよゝ来る二月一日、第四十三回紀念祭當日には愛宕山のJOAKから一高健兒約二十名が「あゝ玉杯」線もぞ濃き「都の空」等著名な寮歌を萬天下に放送することになりました。何卒當日はスピーカーを通して一高生の潑刺たる意氣をお聴取り下さい！

(第二放送・午後〇時十五分より十五分間)

御話を拜見して、心から嬉しく思ひました。生徒委員のみの仕事で、積極的には働き得ない共済部にとつて、かくの如き御理解御同情あつてこそ、眞のその使命を果し得るものと思じて居ります。

猶、紀念祭當日には、吉例に由りまして、漫畫手拭、今年からはそれに加へて漫畫繪葉書を販賣致します。是非、御買上、御宣傳の程御願ひ致します。

地方の一高會などにも、郵便にて御注文下されれば、即刻御送り致します。

以上、第四十三回紀念祭を迎へるに當つて、一言、御挨拶、御願ひを申し述べたる次第でございます。